

# 第8回仙北市議会12月定例会

(招集日：平成22年12月2日 最終日：12月21日)

## 市長、提出補正予算：議会みとめず

### 市民サポートセンター関連費削除し可決



仙北市議会12月定例会の日程は12月2日から21日までとなった。その中で大きな出来事は「市民サポートセンター関連費435万円を削除し、予備費に移す修正案が議員から出され全会一致で可決された事である。門脇市長にとっては就任以来初めて議会から修正案が出されたこととなる。

#### 当局の提案説明

市民サポートセンターの開設は、門脇市長がマニフェストに掲げた公約

であり、国や県の形が変わっても、市民の融和と地域の資源や財産、人材を生かせる強固な仕組みが必要と提案された。

#### 修正の主な理由

- 市民サポートセンターの業務範囲やサービスの内容が市民の理解を得られるか。
- 現行組織の点検、職員意識レベル、能力の向上など必要条例の整備を優先すべきであるなど。

市長の提出予算に議会はまいったをかけた。

#### 一般会計補正予算

総額は3億4,325万円

#### 歳出の主なもの

■地域運営体活動推進費交付金 雲沢地区 500万円

○地域総合整備資金貸付金(株)日本ふるさと計画 1億2,500万円

○地域介護・福祉空間整備 既存施設スプリンクラー整備費 グループホームにスプリンクラー設置費補助(花みずき、ゆうゆう)と自動火災報知設備(ゆうゆう) 785万円

○生活保護事務費 電算化システムの整備 3,739万円

○新型インフルエンザ 日本脳炎予防ワクチン接種 1,863万円

○新規需要米生産体制緊急整備事業費 米粉、飼料用米に取り組み農家1戸にコンバイン購入の1/3補助 177万円

○急傾斜危険区域区域工事費 負担金 細越坂工事費の20% 380万円

○河正雄(ハ・ジョンウン)コレクション展開催費、美術品90点の運搬費 他開催期間は2月7日から3月27日まで。 336万円

#### 市政報告の主なもの

■病院事業管理者に宮川信先生が今年4月から着任

本市病院事業の管理者として宮川信先生を迎える準備が整った。

先生は信州大学医学部を卒業、地域医療の確立に医師人生をかけてこられた方で、内分泌外科を専門分野とされている。

長野県飯田市立病院院長、全国自治体病院協議会副会長、日本病院団体協議会代表者などを歴任、現在は複数の大学で後継医師の指導を行っている。今年4月から着任いただけることとなった。

#### 秋田内陸線について

平成24年までに、赤字額を2億円以内とする目標に取り組んでいるが、対前年度比で乗車人員で2万1,000人の減、収入で800万円の減と厳しい状況である。

帯の生活実態調査を施設入所や入院されている方を除き2,326世帯に配布し、2,206世帯の回答を得ている。

調査内容は介護、病気、生活費、除排雪、めんどろを見てくれる人や相談相手、毎日の食事の買い物と調理などについて。

調査結果は平成23年度予算に反映させたい。

#### 居宅介護支援事業所の移転、統合について

特別養護老人ホーム「かくのだて桜苑」が民間委譲されることに伴い、併設されている角館居宅介護支援事業所を移転する必要がある。この機会に同じ業務を行っている田沢湖居宅介護支援事務所と統合し、西木庁舎へ移転し福祉事務所及び包括支援センターとより連携をとれる体制が実現できる。

(田口喜 記)

#### 高齢者生活実態調査について

仙北市に居住する65歳以上の方だけで暮らす世